



六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.52
住吉川の環境学習
プログラム/石尾 浩市
2007年7月発行



住吉川

第52回テーマ： 住吉川の環境学習 プログラム



講師：石尾 浩市さん
プロフィール

1977年富山県生まれ。
名古屋大学農学部卒業後、
2000年に建設省入省。
現在、国土交通省六甲砂防
事務所調査課長。気象予報
士。

講演内容

- ①六甲山麓の街の不思議
- ②私たちの住む街の素晴らしさ
- ③六甲山麓の街の安全を考える

実施日：平成19年7月21日（土）
午後1時～3時45分
場 所：六甲山自然保護センター
レクチャールーム

真夏の六甲山は気温20度の涼しさ

六甲山は真夏とは思えない、気温20度の涼しさでした。先月卵塊がいっぱいだった二つ池は、ひんやりとした霧の中、ひっそりとしていました。池の中は卵から孵ったオタマジャクシでいっぱいでした。

整備活動では、昨年ササを刈った後に、新しい植物が出てきているのを目にしました。今回は、ササを刈った効果をより明らかにするため、散策路脇に10mごとに範囲を区切りました。ササを刈りながら密生度を確認し、今ある植物の種類や数を確認しました。



範囲を区切ってササを刈りました

石尾さんは気鋭の若手課長

市民セミナーでは国土交通省六甲砂防事務所の石尾さんに住吉川の環境学習プログラムについてお話いただきました。石尾さんはこれまでの市民セミナーの講師の中で最若手ですが、調査課長として活躍されています。今期には砂防事務所が地域で環境学習プログラムを展開するという画期的な取り組みをされています。

六甲山は素晴らしさと危険性が並存する山

講演では、住吉川の環境学習プログラムを素材に、まず六甲山の成立の歴史や六甲南山麓の街の不思議さについてお話いただき、街の素晴らしさという点から、灘の酒や御影石、だんじりなどの文化について解説していただきました。最後に、ときには脅威となる六甲山の危険性や、安全への取り組みについてお話いただきました。

安全という側面からも六甲山を考えたい

六甲山に数多く造られている砂防堰堤は、自然の中に目立つ人工物だとして嫌われることもあります。麓の住民の安全を守る重要な施設であることが理解できました。当会も六甲山の景観整備のための自然ばかりでなく、安全のための自然という側面も考えながら活動を進めたいと思います。

※詳しくは、1. 2ページをお読みください。

参加の感想 田村 美生夫 さん

昨年の“六甲山の植生調査”以来1年ぶりの参加である。六甲山の成立から、もたらされる恵みと脅威についての丁寧な説明あり、行き届いた資料を戴いた。“海の浄化”に取り組んでいるNPO法人の方との意見交流も興味深いものであった。帰宅後の家庭団欒では、身近な話題として大いに盛り上がった。六甲山を愛する者の一人として、参加の都度、有意義な話が聞けて有難く感謝している。景観整備ボランティアにも参加してみたいと思う。



主催：六甲山自然保護センターを活用する会
協力：兵庫県立人と自然の博物館
後援：兵庫県神戸県民局 灘区役所 神戸市教育委員会

【助成金をいただいている機関】
コベルコ環境保全基金、セブン-イレブンみどりの基金
ひょうご環境保全創造活動、コープこうべ環境基金